今後の予定のお知らせ

下小山田町内会お祭り

開催日：9月6日（土）14時～
会　場：小山田神社
（下小山田町 3029）

プール夏祭り 2025

地元農産物の販売も予定しています！

開催日：9月15日（月・祝）9時～
会　場：町田市立室内プール
室内プール・トレーニング室の無料公開のほか、各種プログラムも無料で体験できます。飲食や物販、色々な体験も楽しめます！

花の家まつり

開催日：10月18日（土）
会　場：ニーズセンター花の家
飲食の屋台やステージ発表、物販、ミニゲームなどを予定しています。

ずしまちいち 2025

開催日：10月5日（日）10時～
会　場：図師日影坂下公園
イベントの詳細は、右のQRコードから公式HPをご確認ください。

「まちだベジハブ」とは

まちだの市民と農をつなぐ取組を「まちだベジハブ」と呼んでいます。「ベジ」はベジタブル（野菜）、「ハブ」は複数のものをつなぐ中心を意味しており、まちだの農を通して「ヒト・コト・場所」がつながることで、農が身近な暮らしを楽しめる環境づくりを行っています。

まちだベジハブの将来ビジョン

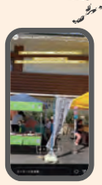
都市の中の農地を維持し、多様な農に触れる機会や関わりを通して市民が農を身近に感じられる暮らしの実現

情報発信ツールのご紹介

まちだベジハブ公式HPや公式インスタグラムでは、地区内の取組やイベント情報などを随時、発信しています！下記QRコードより、ぜひチェックしてみてください！

インスタグラム ID
machida_vegehub

イベント参加時はリアルタイムでも発信しています！



発行・お問合せ

まちだベジハブ事務局
［運営］株式会社 UR リンケージ
メール：machida-agri@urlk.co.jp
または、まちだベジハブホームページの「お問合せフォーム」より

町田市 都市づくり部 土地利用調整課 土地利用係
（都市農地保全活用担当）
電話：042-724-4254　FAX：050-3161-6271

まちだベジハブは、市内各地でまちだの農を楽しめる取組やスポットを紹介しています！
最新のイベント情報などはこちらから！

ホームページ　インスタグラム

MACHIDA_VEGEHUB

まちだベジハブ

下小山田・図師町 Vol.2 2025.09発行 農の風景育成地区

下小山田・図師町エリア

市民と農をつなぐ まちだベジハブ通信

本エリアは東京都の農の風景育成地区に指定されてから、農やみどりを身近に感じられる様々な取組が行われています。
今回は、初夏から夏にかけて実施された取組などについてご紹介します！

農の風景育成地区とは？

都市の貴重な農地を保全し、農のある風景を将来につなげるため、東京都が創設した制度です。

▼詳細はこちら▼

対象地域
下小山田町、図師町の各一部

TOPICS

- 住民向けの取組報告会を開催しました！
- 蓮まつりでワークショップを実施しました！

COLUMN｜コラム
小山田蓮田緑地がオープンしました！

~2025 年度~

5 月 ～ 7 月 取 組 紹 介

取組紹介❶ 「下小山田・図師町農の風景育成地区」取組報告＆意見交換会を開催しました！

令和５年 10 月に「下小山田・図師町エリア」が、東京都の「農の風景育成地区」に指定されて以降、町田市の市民と農をつなぐモデル地区として、様々な取組が始まりました。今回は、地域にお住まいの方々にお集まりいただき、これまでの取組報告とともに、今後の地域の魅力向上に向けた意見交換を行いました。

これまでの取組紹介と報告会の様子

①地域での地場産野菜の販売
室内プールや花の家の協力により、地域の身近なところで地場産野菜を購入できるようになりました！

②地域イベントでの農の風景との連携
公園や施設主催のイベント等でも、地場産野菜の販売を行っています。

③農作業のお手伝いができる機会づくり
市民や学生による地域の農作業のお手伝いが始まりました。

④地場農産物を活用した体験ワークショップを実施
バイオエネルギーセンターで味噌づくりワークショップを行いました。

⑤地域関係者からのアイデアの実現
地区内で生産された野菜をオリジナルで作成した野菜袋に入れて、各地で販売しています。

地元農家さんや施設関係者の方から地域での取組や今後のイベントの告知などしていただきました！

意見交換会でいただいた様々な意見

ご参加いただいた皆さまありがとうございました！

- 小山田地区は、小規模な農地や農家が多い。
- 農家の高齢化が進んでいるので、市民や学生が援農（農作業のお手伝い）に来てもらえるのはありがたい。
- 農地の課題はあるが、農の風景を残していくことは大事である。
- 地域の散策マップをつくるときに、地区内だけでなく、周辺地域とつながりを意識して、各方面から散策できるようにするとよい。また、地区内には眺めのいい場所や、夕日や夜景がきれいな場所もあるので一緒にアピールができるとよい。
- 今後、町内会の行事や取組などで地場産野菜を販売する機会をつくるなどの協力もできる。

＜意見交換の様子＞

取組紹介❷ 地区内の農作業のお手伝いに来ていただきました！

初夏（５月～６月）は、夏野菜に切り替わる前の農作業が盛んな時期です。また、地区内で紅花（ベニバナ）を育てている農地では、６月中頃に花が咲き始めます。この期間、各地から農作業のお手伝いに来ていただきました！

藕絲館では、紅花の花びらで染料となる「紅花餅」をつくっています。６月は、伝統色彩士協会の方々に花摘みのお手伝いをしてただきました！（藕絲館より）

町田高校の学生が地域ボランティア活動として、地区内の農地で農作業を体験しに来てくれました！

取組紹介❸ 蓮まつりでワークショップを実施しました！

実施日時：2025 年７月 19 日（土）８時～ 12 時
実施場所：町田市大賀藕絲館（おおがぐうしかん）、小山田神社前の蓮田

蓮まつりとは、町田市大賀藕絲館主催による、蓮の花の開花時期に開催されているイベントです。藕絲館で管理している小山田神社周辺で蓮の鑑賞会や、蓮を材料として使った飲食や物販、体験ワークショップなどが行われました。

まちだベジハブも「野菜スタンプワークショップ」で参加しました！

野菜をカットした断面をスタンプにした「野菜スタンプ」で、オリジナルのデザインによるエコバッグづくりを行いました。

蓮まつりの来場者や施設の方々にご参加いただき、思い思いにスタンプを楽しんでもらいました。今回「蓮」にちなんで用意した「レンコン」のスタンプが大人気でした！

お立ち寄りいただいた方には、まちだベジハブや地域での取組についてもご紹介させていただきました。

子どもも大人も一緒にワイワイ！
カラフルなスタンプに夢中！

COLUMN | コラム

小山田蓮田緑地がオープンしました！

７月 26 日、小山田蓮田緑地が開園しました（一部施設を除く）。本公園は、これまで地域にあった蓮田を活かし、より身近に楽しめるように公園化を行い、蓮の時期以外にも年間を通じて地域で楽しめる公園となっています。

公園内には、市民や地域の方々が気軽に農体験など楽しめる場として「環境教育農園（右図赤枠範囲）」が設置されています。今後どのように活用・運営するかを引き続き検討していく予定です。

公園の詳細については、市 HP をご確認ください。

▲町田市 HP

鳥観図（市 HP より）

ハス田エリア

環境教育農園

環境教育農園